



一般財団法人 タイオン奨学基金 × 就実大学

薬学の道を目指す学生にとって、
奨学金に込められた「応援」が励みに。

藤井 近年、薬剤師の職能や職域が拡大し、慢性的な人材不足が続いている。その現状を解消し、ひとりでも多くの優秀な薬剤師を育成したいとの思いから、薬学の道へ進む学生を資金面から支える「タイオン奨学基金」を2017年に設立。これは返還義務のない完全給付型奨学金で、卒業後の特定企業への入社義務も発生しません。ほかの奨学制度との併用も可能です。対象は、①薬学部薬学科に在籍し、本人もしくは保護者が岡山県内に在住していること②人物・学力ともに優れ、かつ向上心があり、日本国籍を有すること。としています。募集は1年生を対象に年間10名程度。大学入学後の申請で、学生の成績や親の収入などを総合的に審査・選考したうえで決定。月額3万円を6年間支給しています。

塙田 就実大学薬学部では、延べ約50人の学生が「タイオン奨学基金」を活用しています。親族以外の人に、「薬剤師になることを支えてもらえることが心強く、学生の学業に対するモチベーションアップにもつながっています。皆木さん、橋本さんは、この奨学金をどのように

困っているかを聞き出すことが大事だということを教わって。薬剤師には人間性に富んだコミュニケーション能力が必要とされていると感じました。

塙田 大学では、全国的に有名な模擬患者が所属する「岡山S.P研究会」と連携協定を結んでおり、カスタマイズされた医療面接に対応できるのが強みになっています。皆さんは、さまざまな経験や学びを通して、薬剤師のどんな役割に魅力を感じるようになったのでしょうか?

橋本 薬剤師というのは、医療専門職のなかで患者さんに一番長く寄り添え、安心感を与える存在だと思っています。私は、チーム医療で曾祖母の治療を支えてもらったという経験があるので、チーム医療に対する憧れや魅力を感じています。皆さんは、さあまな経験や学びを通して、薬剤師のどんな役割に魅力を感じるようになったのでしょうか?

塙田 はい。私は患者さんと一緒に話ができるような薬剤師になれたと、自分が薬剤師になりたいと思つて就職活動に取り組んでいました。たとえ处方箋を持つていても、お客様と一緒に話すことで、アルバイトを行っていた時間を実習の復習の時間に充てたり、どういう薬剤師になりたいかということをじっくり考えたりすることができます。私の心の支えになってくれたと思っています。

橋本 コロナ禍の影響で、財団の方々とお会いする懇親会は中止になっているんですけど、その代わりに激励のお手紙をいざなうことがあります。その手紙を通して、今までつながることのなかつた方々から「応援している」という思いが伝わってきて、勉学の励みになっています。

塙田 4年生以降は授業や実習で忙くなるので、この奨学金に救われている

学生時代の心の支えになつていました。この奨学金の存在が、本当に心の支えになりました。

時間が増えて、
助かっています!

この奨学金の存在が、
学生時代の心の支えに
なつっていました。



皆木 私は、学費や教材費に充てています。奨学金のおかげで、アルバイトをすればどしなくてもいいので、学業に専念できる時間が増えて助かっています。

橋本 ちょうど勉強が忙しくなり、アルバイトができなくなった時期だったので、奨学金を学費や教材費に活用させていた

だきました。私は姉妹で支給してもらつたので、経済的な負担を軽減できたのがよかったです。実は貸与型の奨学金も活用しているので、将来どれだけのお金を返さなければいけないのだろうと考えると不安で。だからこそ、返還義務のない奨学金制度は本当にありがたくて。

浜谷 私もふたりとほぼ同じ使い道で、毎年4月に10冊ほど教材を購入する際に活用していました。この奨学金があることで、アルバイトを行っていた時間を実習の復習の時間に充てたり、どういう薬剤師になりたいかということをじっくり考えたりすることができます。私の心の支えになつてくれたと思っています。

塙田 塙田 4年生以降は授業や実習で忙くなるので、この奨学金に救われている



時間が増えて、
助かっています!

この奨学金の存在が、
学生時代の心の支えに
なつっていました。



一般財団法人 タイオン奨学基金
代表理事
藤井 大温さん

薬剤師は必ず世のなかから求められる職業だと考えています。学生の皆さんには、ぜひ夢を叶えてもらえるとうれしいです。私たち財団としては、この奨学金制度を続けていくことに意味があると思っています。これからも学生さんたちをしっかりとサポートし、業界に貢献できれば幸いです。



就実大学
薬学部長
塙田 澄子さん

高額な学費のために、薬剤師になることをちゅうちよすることもあると思います。それでも、返還義務のない奨学金制度を活用し、自分の夢をかなえた学生たちがたくさんいます。大学卒業後は、自分たちがしていただいたことを、そのあとに続く学生たちに何かの形で恩返しできることを願っています。

奨学金支給制度の概要

給付額 月額 3万円(返還義務なし)

給付期間 原則として決定年の4月より6年間(最短修学年限)



一般財団法人 タイオン奨学基金

岡山市北区西古松西町8-17 TEL.086-250-0310 https://www.taion-scholarship.or.jp/

奨学生募集中

2022年度の募集につきましては、
ホームページをご覧ください。



就実大学

薬学部薬学科3年生
皆木 亜友さん
(大学1年生から奨学金を受給中)

健生病生活を送っていた曾祖母の治療を支えてくれたのが、医療専門職の連携によるチーム医療だったそう。その経験から、チーム医療に貢献できる薬剤師を目指したいと、薬学部へ進学し、セミでは「医薬品合成学」について研究。

就実大学

薬学部薬学科6年生
橋本 奈見さん
(大学3年生から3年間奨学金を受給中)

幼いころから体が弱く、担当の薬剤師に親身に接してもらったことが、薬剤師という仕事に興味を持つきっかけに。姉と同じ薬学部へ進学し、セミでは「医薬品合成学」について研究。



一般財団法人津山慈風会
津山中央病院

薬剤部(勤務1年目)
浜谷 大地さん
(大学4年生から3年間奨学金を受給)

就実大学薬学部の卒業生。
中学生のとき、祖父の家で見つけたさまざまな薬の効果に興味を持ち、薬学の道へ。仕事では「医薬品合成学」を専攻。仕事では日々勉強が欠かせないとい。